

SUPAIR | DELIGHT5



取扱説明書

Jp En De Es

SUPAIR
34 rue Adrastée - Parc Altaïs
74650 Annecy - Chavanod
FRANCE

RCS 387956790

Indice de révision: 17/06/2026

www.supair.com

45°54.024'N / 06°04.725'E

目次

はじめに	3
スペック	4
サイズチャート	5
構成部品	6
ハーネス外観図	7
アクセサリーのセットアップ	8
レスキューのセットアップ	13
収納およびガジェット	18
ハーネスの調節	21
ハーネスの装着	25
交換部品	26
フライト中の挙動	28
フライトの各段階	29
レスキューパラシュートを使う	30
トーイング	31
必須点検	31
保守	31
保証	33
免責事項	33
フライト装備	33
バンプエア・プロテクション	34
事故が起きたら	35
整備履歴	36
Annex	37

始めに

この度は、ディライト5ハーネスをお選びいただき、誠にありがとうございます。皆様と同じ情熱を共有できることを大変嬉しく思います。

スップエアーは1984年以来、フリーフライト用具の設計、製造、販売を行ってきました。スップエアー製品をお選びいただくことで、40年以上にわたる専門知識、革新性、そしてお客様第一主義の恩恵を受けることができます。これは、継続的な改善と高品質な製品づくりという、私たちの理念でもあります。

以下に、機材の操作方法、安全設定、点検についてご説明するマニュアルを掲載しております。包括的で分かりやすく、そして読みやすい内容を目指して作成いたしましたので、ぜひご一読ください。

弊社ウェブサイト www.supair.com では、本製品に関する最新情報をご覧いただけます。ご不明な点がございましたら、お気軽に弊社の提携販売店までお問い合わせください。もちろん、スップエアーチーム一同、info@supair.com にていつでもご質問にお答えいたします。

皆様のフライトが安全で楽しいものとなることを心より願っております。

スップエアーチーム

スップエアーが提供する、情熱を共有するパラグライディングの世界へようこそ。

ディライト5はクロスカントリー用ハーネスです。快適で正確、そしてコンパクトな設計は、初代から4代目までのディライトシリーズの成功を受け継いでいます。モダンで意欲的なこのハーネスは、初めてのポッドハーネスとして理想的な選択肢です。

ディライト5は旅行に最適で、時折のハイク＆フライにも適しています。平均4～5時間のフライトを行うクロスカントリーパイロット向けに設計されています。

ディライト5ハーネスは、搭載重量、最大130 daN（約130kg）でEN 1651+A1およびLTF 91/09の認証を取得しています。また、指令89/686/EECに準拠したCE認証も取得しています。この製品は、欧州規格EN 1651+A1の衝撃保護要件を満たしており、欧州の安全基準に適合しています。

この取扱説明書をお読みになった後、初飛行の前にシミュレーターにつり下がりハーネスのテストを行うことをお勧めします。

ディライト5は軽量素材で設計されています。シュールレースフックが付いたブーツやアイゼンは着用しないでください。スピードバッグに引っかかって破損したり、ラインやテープに絡まる可能性があります。

注意：この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。



アドバイス

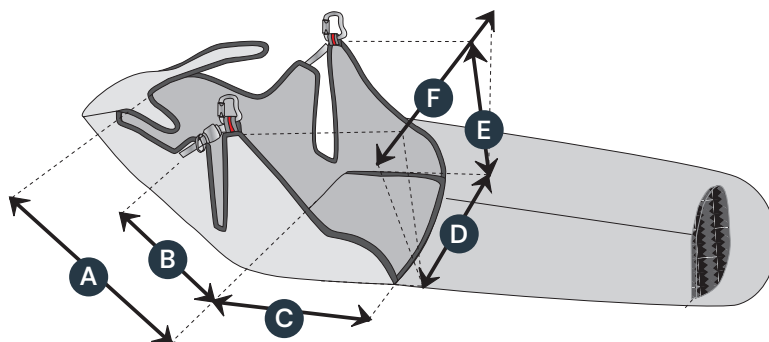


警告！



危険！

スペック



ディライト 5		S	M	L	XL
	ハーネス重量 (kg)	3,23 kg	3,4 kg	3,72 kg	3,8 kg
	パイロット身長 (cm)	155 - 170 cm	165 - 180 cm	180 - 190cm	>190 cm
	パイロット体重 (最小-最大) (kg)	60 - 80 kg	65 - 85 kg	70 - 95 kg	>90 kg
認証最大搭載重量		130 daN (約 130 Kg)			
A	背もたれ高さ (cm)	58 cm	65 cm	72 cm	76 cm
B	リクライニング調節高さ (cm)	35 cm	36,5 cm	41 cm	43 cm
C	シート深さ (cm)	45 cm	45 cm	45 cm	49 cm
D	シート幅 (cm)	33 cm	33 cm	35 cm	37 cm
E	カラビナ高さ (cm)	45 cm	45 cm	46 cm	47 cm
F	カラビナ間距離 (cm)	38 - 46 cm	38 - 46 cm	40 - 48 cm	42 - 48 cm
背部ポケット容量		21L	22L	27L	29L
バラストポケット容量		5L	5L	5,5L	5,5L
	衝撃吸収システム	ディライト 5 専用バンプエアー			
使用目的		パラグライディングのみ			
認証		有: EN 1651 +A1 / LTF			
タンデム使用 (パイロットあるいはパッセンジャー)		否			
トーイング		可			
リリースカラビナ対応		否			
レスキューコンテナ容量 (L)		2L to 5,3L			

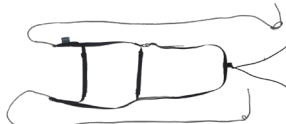
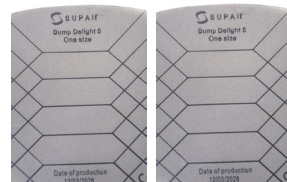
サイズチャート

	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	1.95	2.00	2.05
50	S											
55	S											
60	S											
65	S					M						
70	S			S / M		M						
75			S	S / M		M	M / L					
80				M			M / L	L	L / XL			
85				M			M / L	L	L / XL	XL		
90						M / L	L		L / XL	XL		
95							L	L / XL		XL		
100							L	L / XL	XL			
105								L / XL	XL			
110									XL			
115										XL		
120											XL	

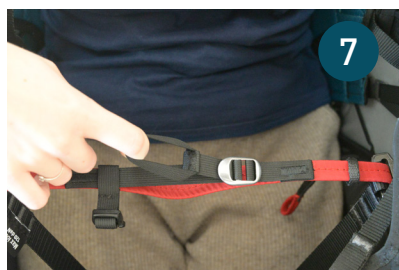
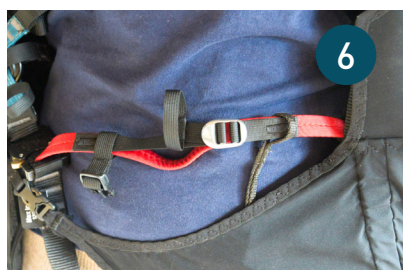
構成部品



1 ハーネス本体

			
2 ダイニーマ製レスキューブライダル	3 レスキュー管グル/インナーコンテナ	4 エーデルリッド FORASカラビナ	5 バックプロテクションプレート
			
6 カーボンシートプレート	7 カーボンフットプレート	8 スピードバッグ用3段アクセル2	9 デイライト5 バンプエア
			
10 耐穿孔性マイラー	11 スクープ用マイラー		

ハーネス外観図



① コックピット

② レスキューコンテナ及びトグル

③ メインハングポイント

④ サイド収納ポケット

⑤ 背部収納ポケット

⑥ チェストベルト

⑦ チェストベルト調節

⑧ リクライニング角度調節

⑨ 肩ベルト調節

⑩ レスキューブライダル取り付けポイント

⑪ アクセルシステム用プーリー

⑫ バンプエア

アクセサリーのセットアップ

カラビナ

適応するカラビナ：

エーデルリッドフォーラスカラビナ

商品コード：MAILMOUSFORAS

- 1 カラビナを3本のメインテープに通します。



- 2 カラビナをスピードバッグに設けられた専用のスリットに通します。



フットプレート

適応するフットプレート：

カーボンフットプレート

商品コードS/M：MPPL010

商品コードL/XL：MPPL024



幅の広いほうを上側に、狭いほうを下側にします。

1

スピードバッグのつま先部分をひっくり返します。

2

フットプレートポケットのベルクロを開きます。



3

幅の広い方が上になるようにフットプレートをポケットに挿入します。

4

ベルクロを閉め、スピードバッグをもとに戻します。



シートプレート

ディライト5は、シートプレート有りあるいは無しのどちらでも使用することが可能です。

シートプレート有りではより堅固な感覚と効率的な体重移動をもたらします。ハーネスからはより多くの情報が伝えられより正確になります。また通常の飛行形態から逸脱した際のコントロールは容易になります。シートプレートがあるとサイドからの圧迫がないのでより快適になります。

一方シートプレート無しでは座り心地がソフトになり、ハングポイントがわずかに上がります。従ってハーネスはよりニュートラルな感覚になり安定性が増

します。シートプレートが無いと腰回りのホールド感が増します。

しかしながら通常の飛行携帯から逸脱した際は、シートプレートが提供してくれるサポートならびに正確さがいないため正確なブレイクコントロールが必要になることに注意してください。

適応するシートプレート：

カーボンミニシートプレート

商品コードS / M : MPPL021

商品コードL / XL : MPPL025

1

シートプレートはバンプエアーの下部保護フォームにあります。下部のファスナーを開けてください。



2

そこにシートプレートを挿入するためのスロットがあります。プレートはベルクロで固定します。



3

シートプレートは、湾曲した辺が後方を向き、くぼんだ側が下向きになるように挿入してください。



4

シートプレートをスロットの奥まで完全に差し込んでください。



5

ベルクロで固定してください。



バックプロテクションプレート

- 1 背部ポケットのファスナーを開けて、バックプロテクション用ポケットの位置を確認してください。



- 2 バックプロテクション用ポケットのファスナーを開けます。



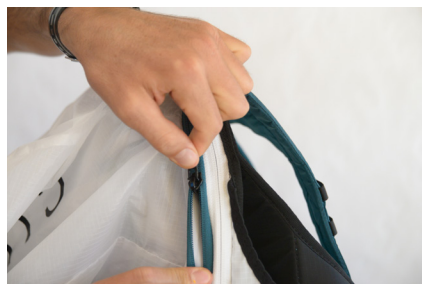
- 3 角が丸く削られたほうが下に来るようにバックプロテクションを挿入します。



- 4 バックプロテクション用ポケットのファスナーを閉めます。



- 5 背部ポケットのファスナーを閉めます。



バンプエア

適応するバンプエア：
バンプエア・ディライト5
商品コード：PROBUMP5

ディライト5は専用のバンプエアを装備して使用されなければなりません。ディライト5のバンプエアは“上部”と“下部”の二つの部分から構成されています。



バンプエアが正しく機能するためには、この二つの部分が正しく挿入装備されていなければなりません。

- 1 バンプエアポケットにアクセスするためにハーネスのシート部分を折り返します。



- 2 シートに一番近い、最初の収納スペースを開けてください。



- 3 バンプエアを収納スペースに挿入（直線側がバラストポケットに向くように）してください。



- 4 収納スペースのファスナーを閉めます。



- 5 2番目の収納スペースを確認してください。



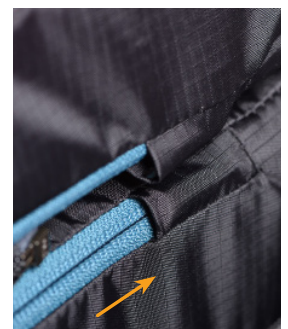
- 6 バンプエアを収納スペースに挿入（直線側がバラストポケットに向くように）してください。



- 7 収納スペースのファスナーを閉めます。



ストラップとの絡まりやバンプエアの操作中のトラブルを防ぐため、各収納スペースのファスナーライダーは正しく所定の位置に収納してください。



アクセセル

適応するアクセセル：

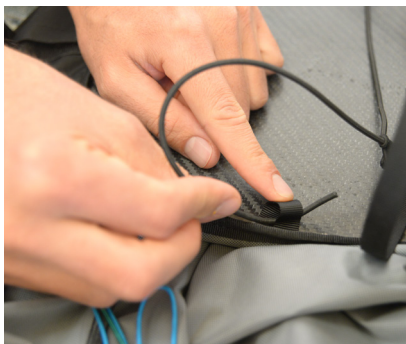
スピードバッグ用3段アクセセル2

商品コード：ACCEL3BSTD2

- 1 フットプレートにアクセスできるようにスピードバッグの先端を折り返してください。



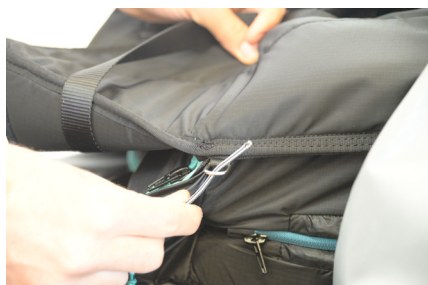
- 2 フットプレート下部左右に設けられたループにゴムひもを通して。



- 3 両方のゴムひもの先端を結んで固定します。



- 4 シートの左右に設けられたリングにアクセセルロープを通します。



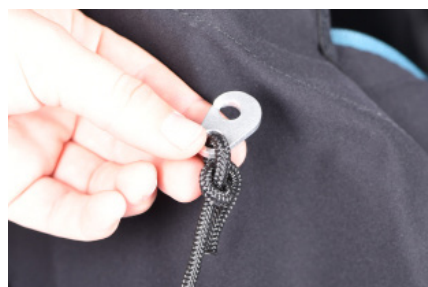
- 5 次にロープをハーネス腰部に設けられたプーリーに通します。



- 6 さらにロープをスピードバッグサイドに開けられたスリットに通して外側へ出します。



- 7 最後にロープ先端にブルンメルフックを取り付けます。



- 8 ライザー側のブルンメルフックにロープ側のブルンメルフックを接続し、疑似的にアクセセルを作動して確実にアクセセルシステムが機能することを確認してください。

- i** 警告：アクセセルロープの長さが短すぎないか確認してください。大変危険です。アクセセルを作動しない状態でアクセセルロープにテンションがかかるようではロープは短すぎます。

レスキューのセットアップ

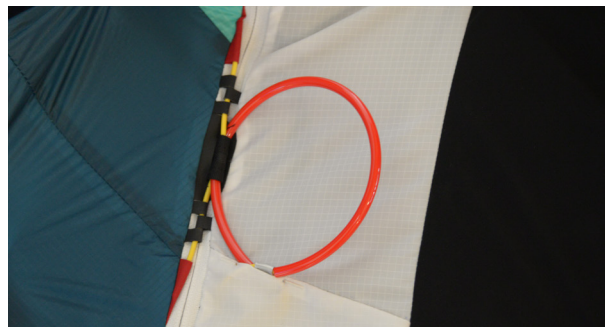


以下の説明を注意深くお読みください。最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。レスキューのハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。それ以外の方法に起因する事象に対しての責任は負いかねます。

レスキューパラシュートの大きさはパッキング方法により異なります。我々はスップエアーのパラシュートでコンテナサイズを確認しています。他のパラシュートも対応すると考えられますがシステム全体が正しく機能するかの確認はご自身で行って下さい。

レスキューコンテナの特徴

- ファスナーで閉められケーブルによりロックされる 方式
- 容量は 2 ~ 5.3L
- スップエアーのシャイン、フルードライト、フルードライトエヴォ、X-ライトに適合するほか他のソコ用レスキューにも適合します



ディライト5 SおよびMサイズ			
適合するレスキュー	S	M	L
シャイン	Yes	Yes	Yes
フルードライトエヴォ	Yes	Yes	Yes
X-ライト	Yes	Yes	Yes

ディライト5 LおよびXLサイズ			
適合するレスキュー	S	M	L
シャイン	Yes	Yes	Yes
フルードライトエヴォ	Yes	Yes	Yes
X-ライト	Yes	Yes	Yes

レスキューをインナーコンテナに収納する



警告：ディライト5のS,Mサイズは、専用のS/Mサイズのインナーコンテナを使用し、ディライト5のL,XLサイズは、専用のL/XLサイズのインナーコンテナを使用すること。

1

レスキューはディライト5専用のインナーコンテナに収納しなければなりません。レスキューのそばに移設するためのインナーコンテナを置きます。



2

元のインナーコンテナを開きます。



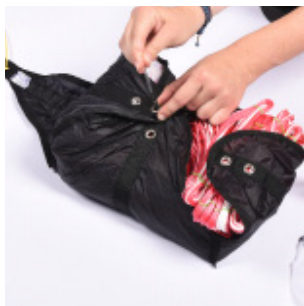
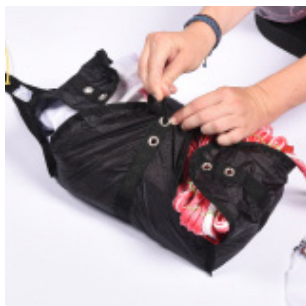
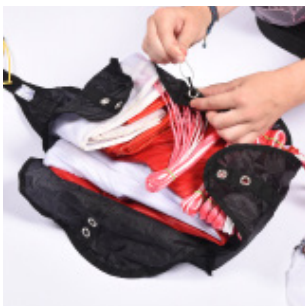
- 3 ディライト5の長方形インナーコンテナの形に合わせてレスキューをたたみ直します。



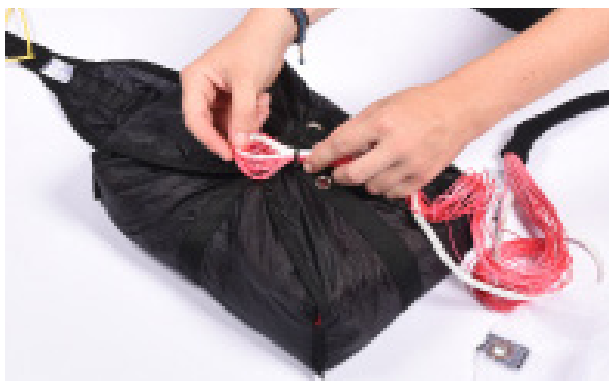
- 4 サスペンションラインをトグルと反対側にインナーコンテナに収納します。



- 5 ハーネスのリペアキットに含まれているケーブルを使用して、インナーコンテナを閉じるゴムループを下図に示されるような順序でハトメに通し、インナーコンテナを閉めます。



- 6 インナーコンテナを閉じたままにするためにサスペンションラインを閉じループに通してロックします。



- 7 最終的に正しく収納されたことを確認します。



ハーネスにブライダルを接続する

1

左肩上部にあるブライダルガイドスリーブのファスナーを開けると、レスキューブライダル取り付けループにアクセスできます。



2

各ライザーをヒバリ結びで取り付けポイントに接続します。ブライダルの小さいほうのループにレスキューブライダル取り付けループを挿入します。



3

ブライダルの大きいほうのループをレスキューブライダル取り付けループに通します。



4

ヒバリ結びを固く締めあげ、もう一方のブライダルも同様に付けます。



レスキューをハーネスのコンテナに収納する



以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。

レスキューのパッキングおよびハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。そうしない場合に対する責任は負いかねます。

1

下図に示すようにレスキューはサスペンションラインが上側、かつブライダルがコンテナの奥側に収まるようにセットします。



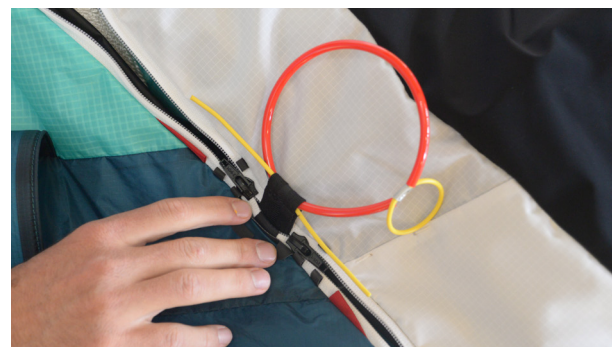
2

ステップ①に示されたように丁寧にレスキューをコンテナの奥までしっかりと挿入します。レスキュートグルはコンテナの外側に出しておきます。



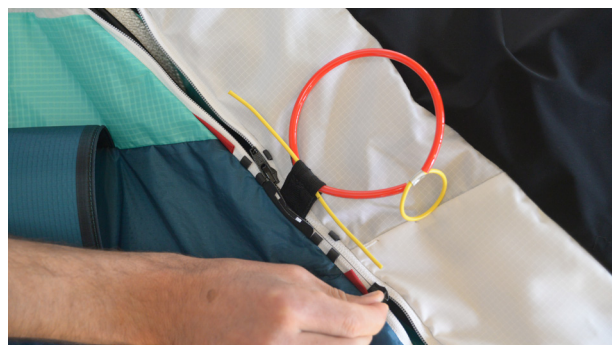
3

ブライダルガイドスリーブのファスナーのスライダーをファスナーの終端まで下げます。トグルだけがコンテナから出ている格好になります。



4

スライダーをファスナーの中央あたりまで引きあげます。これでコンテナが閉じられた状態になります。



5

ファスナーにある3つのスリーブにトグルについているケーブルを差し込みます。ケーブルがすっかり奥まで通っていることを確認してください。



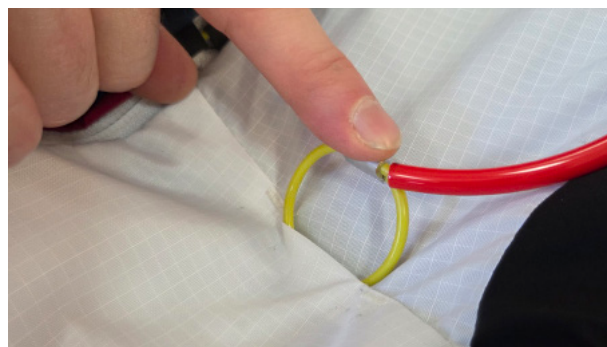
- 6 ケーブルの先を赤色のソケットに差し込みます。



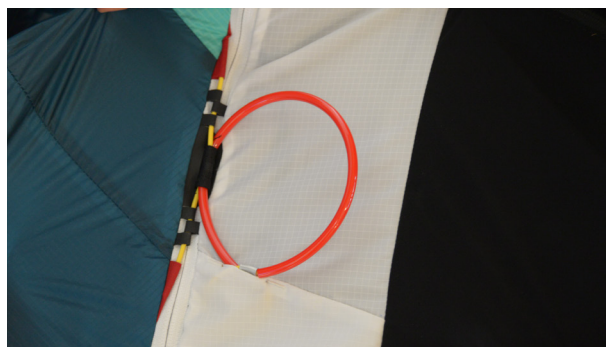
- 7 2本目のケーブルでも同じ手順を繰り返してください。ここでも、ケーブルが奥まで完全に挿入されていることを確認してください。



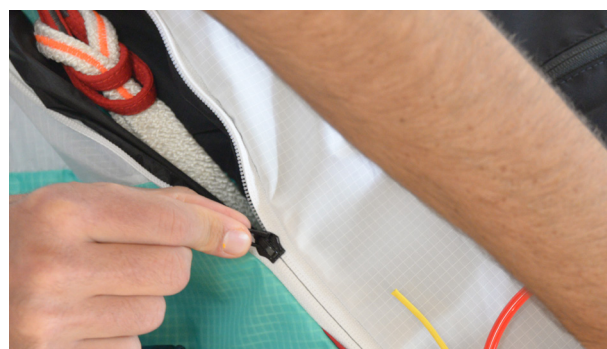
- 8 トグルの黄色のわっかをスロットに差し込みます。



- 9 最終的にセットアップが下図に示されるようになっていないことを確認してください。



- 10 ブライダルガイドスリーブファスナーのスライダーを左肩の端まで完全にスライドさせて閉め、スライダーを収納ポケットの奥まで押し込んでください。



レスキューの引き出し確認は必須です



レスキューのセットアップが完了したらシミュレーターにぶら下がり、必ず引き出しテストを実施してください。



パラシュートがメインポケットの中でねじれていないか定期的に確認してください。ねじれている場合は、圧縮袋に入れてください。

セットアップが完了したら専門家に正しくセットアップされたか確認してもらってください。パッキングされたレスキューの大きさはレスキューにより異なることがあります。レスキューの引き出しテストにおいてシステムが正しく機能しているかの確認をすることが重要です。6か月ごとに引き出しテストを実施してシステムが正常に機能していることを確認してください。

注意：引き出しテストは、必ずしもレスキューを開傘するところまで行う必要はありません。

収納およびガジェット

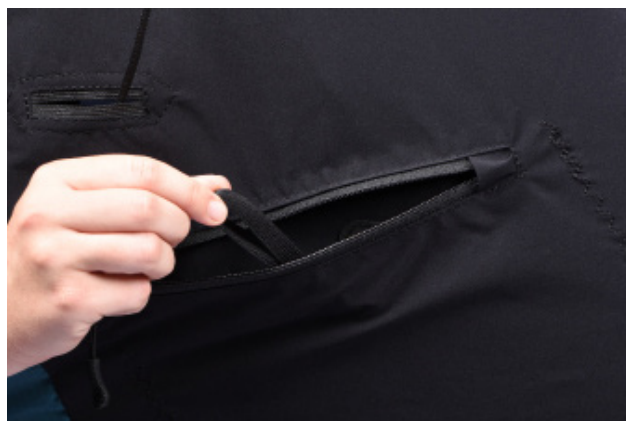
1 背部収納ポケット



2 ドリンクホース取り出し口



3 コックピットポケット



4 アクセサリー用安全クリップ+無線ケーブル取り出し口を装備するサイド小ポケット

コンパクトなたたみ方

- 1 ハーネスを仰向けに置きます。



- 2 Fバンプエアのメインファスナーを開きます。



- 3 バンプエアを広げます。



- 4 ハーネスの両端を折りたたみ、肩ベルトでバンプエアを押さえます。テールフィンが上側に来るようにハーネスをひっくり返します。



- 5 背部ポケットを開き、テールフィンを収納します。



テイクオフで上下に分かれているバンプエアーを一体化させるためにファスナーでバンプエアポケットを閉める際にアクセルをはさみ込まないように注意してください。フライト中アクセルが使用できなくなります。

ハーネスの調節



重要：初めてフライトする前にシミュレーターにぶら下がってハーネスの調節をすることを推奨します。

1 チェストベルトの長さ調節



2 肩ベルトの長さ調節



3 リクライニング角度調節



4 スピードバッグの調節



ハーネスの調節

リクライニング角度調節

– 緩めるとよりリクライニングした状態になります。

– 締めるとより背中が起きた状態になります。



緩める



締める

肩ベルトの調節



緩める



締める



肩ベルトの長さを調節するには調節用のバックルを使用します。

肩ベルトにかかるプレッシャーはフライト中の快適さに大きく影響します。適切な長さに調節することが重要で、長すぎても短すぎてもいけません。きつくならず、かつ上体を心地よくサポートするように調節してください。

チェストベルトの調節

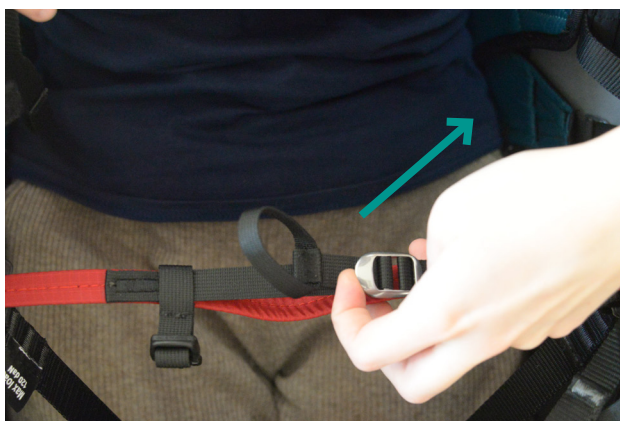
チェストベルトを締めると安定性は増しますが体重移動の効果は減少し、ライザーがツイストするリスクが増大します。

反対にチェストベルトを緩めると体重移動の効果は増大しますが、太気が不安定な場合はリスクが増します(グライダーが潰れた場合に潰れた側に体重が大きく傾く傾向になります)。

腰部のサポート：
この調節により腰部のサポートを好みに合わせて調節が可能です。締めるとフライト姿勢はよりフラットになり、緩めるとフライト姿勢はより腰が落ちた状態になります。



締める



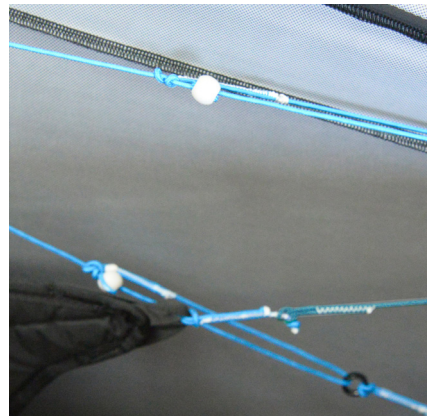
緩める



考慮すべき長さは左右のカラビナの底部センター間の長さです。適切な長さはパラグライダーのモデルによって違います。パラグライダーメーカーの推奨する長さに合わせてください。

スピードバッグの調節

スピードバッグの長さ：
両足をまっすぐ伸ばし、シートにしっかりと座ります。



1 膝が伸び切らない程度に足がまっすぐなるようにかかと側のテープを調節します。

2 しっくりくるようにつま先側のテープを調節します。

i ベルトの長さが短すぎたり長すぎたりしたら、接続位置を動かします。



ハーネスが前傾している場合：
- スピードバッグの長さ調節ベルトが長すぎる
- 肩ベルトの長さが短すぎる

正しく設定出来たら、設定が変わらないようにベルトをバックルに2重通しにして固定します。

ハーネスが後傾している場合：
- スピードバッグの長さ調節ベルトが短すぎる
- 肩ベルトの長さが長すぎる

ハーネスとグライダーの接続

ライザーがツイストしないようにハーネスのカラビナに取り付けます。

ライザーの向きが正しいか確認します：Aライザーがフライト方向の前側に来る様に（右図参照）。

最後にカラビナが確実に締められているか確認します。



アクセルの接続

アクセルを12ページの説明にしたがってセットアップします。

アクセル側のブルンメルフックとライザー側のブルンメルフックを締結します。

アクセルが接続されたら、パイロットの体形に合わせてアクセルロープの長さを正しく調節します。



アクセルをフリーにしたときにアクセルロープにテンションがかかっていない様にアクセルロープの長さを調節してください。



ハーネスの装着

- 1 両肩ベルトに腕を通します。



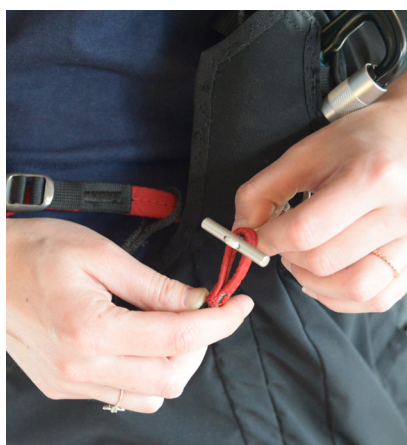
- 2 チェストベルトの左右両側のバックルを締結します。



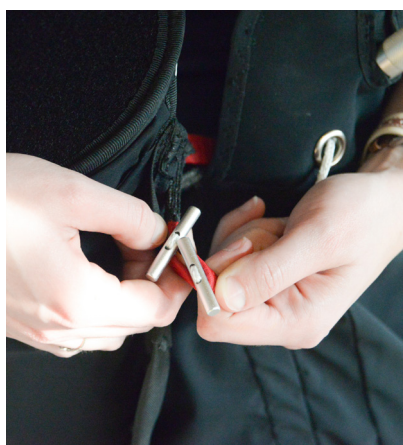
- 3 スピードバッグ右側のクリップを締結します。



- 4 スピードバッグに付いているアルミ製バーを赤いループに通します。



- 5 同様にコックピットに付いているアルミ製のバーを赤いループに通します。



- 6 コックピットのクリップを締結します。



- 7 肩ベルト脱落防止ベルトを締結します。



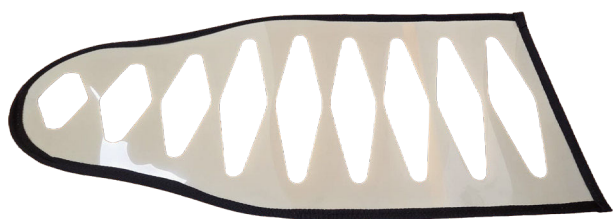
離陸前には必ず、すべての締結部が確実に締結されていることを確認してください。

不明な点がある場合は、手順を最初からやり直してください。

交換部品



1 耐穿孔性マイラー



2 スクープ用マイラー



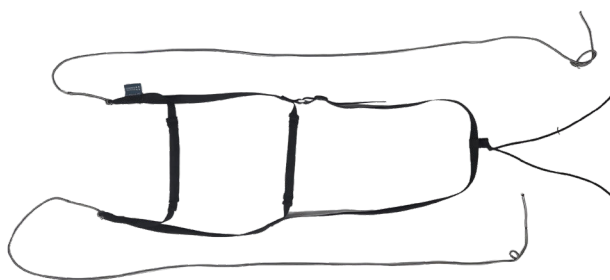
3 カーボンシートプレート
商品コード：S/Mサイズ: MPPL021,
L/XLサイズ: MPPL025



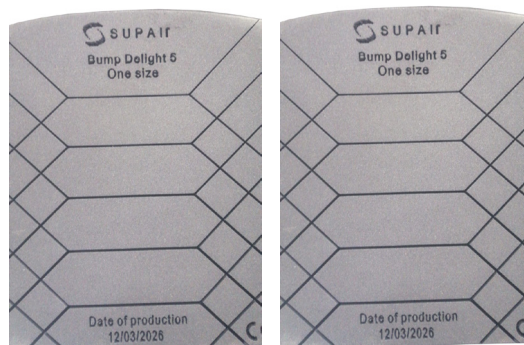
4 レスキュートグル/インナーコンテナー
商品コード：S/Mサイズ: POID5SM
L/XLサイズ: POID5LXL



5 スピードバッグ用3段アクセル2
商品コード：ACCEL3BSTD2



6 ディライト5用バンプエア
商品コード：PROBUMPD5S



7 カーボンフットプレート
商品コード：S/Mサイズ: MPPL010
L/XLサイズ: MPPL024



フライト中の挙動

ディライトの第5世代であるこのハーネスは、先代の良いところを継承しています：高性能、快適さ、耐衝撃性そして安心感です。テイクオフにおいて、ディライト5の軽さは優れた機動性を提供し、地上での容易で直感的なコントロールを可能にします。

空中ではその安定感と安心感はディライト4およびストライク2を彷彿させます。このハーネスは大気をフィルターにかけ正確で快適なコントロールに必要な情報のみを伝達します。チェストベルトの長さを変えてディライト5の安定性を調節することにより、パイロットの好みに合わせることが可能となります。

ディライト5は着座姿勢ならびにセミリクライニング姿勢でコントロールできるようにデザインされています。従って経験豊富なパイロットならびに扱いやすい初めてのポッドハーネスを探しているパイロットにも適しています。ディライト5は、飛行中常に翼のポテンシャルを最大限引き出すことを可能にします。

背もたれの構造はディライト4よりも強化されており、加速飛行時の快適性が向上し、クロスカントリー飛行がより容易で快適になります。ディライト5は、ディライト4とは異なり、ヨー軸の安定性を高める空力フェアリングが装備されています。飛行中でも調整可能なハーネスは、セットアップが容易で、常に快適な装着感を提供します。

高性能、快適、簡潔さによりディライト5はクロスカントリーフライトに理想的なハーネスです！

このハーネスは脚をまげて着座姿勢でフライトすることが可能で、その体制でコントロールは維持され、乱気流に対処し起こりうる異常事態に最適な方法で処理することが出来ます。

新しいハーネスでフライトする際には、いつものグライダーを使用し、大気の安定した状態で慣れ親しんだエリアでフライトすることを推奨します。



フライトの各段階

プレフライトチェック



- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック。
- レスキューパラシュートのトグルのケーブルがレスキューコンテナのフラップを閉めるループに通されていることを注意深くチェック。
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック。
- 全てのファスナーおよびバックルが正しく閉められているかチェック。
- アクセルが正しく調整されグライダーに接続されているかチェック。
- レスキュートグルにラインや他の障害物が絡んでいないかチェック。
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック。

ティクオフ



離陸前には必ず、本書25ページに記載されている手順に従って、正しくハーネスを装着していることを確認してください。
もし不安な点があれば、手順を最初からやり直してください。



- 離陸したらすぐに座らずに立った姿勢を保ち、斜面から十分離れてからスピードバッグに足を入れハーネスに収まるようにしてください。
- 斜面近くではブレークトグルを離さないように。
- スピードバッグに足を入れハーネスに収まる際に間違えてアクセルを踏み込まないように注意してください。リーディングエッジが潰れる危険性があります。

空中



空中においてディライト5の挙動は直感的で安定しています。
カラビナ間距離は気象条件に合わせ、グライダーメーカーのガイドラインに沿って調節してください。

アクセルの使用



グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。アクセル使用に関するさらなる情報を得るためにグライダーの取扱説明書を参照してください。アクセルの使用は、乱気流に対して、より敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することが出来ます。



アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。さらなる加速には3段目バーを踏むこみます。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

ランディング



ランディングアプローチに際しては、十分余裕を持ってスピードバッグから両足を出しておきます。その後、立ち上がった姿勢に移行し、ランディングと共に必要に応じて走り出せるようにします。

ランディングアプローチに際しては常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。

常にハーネスから腰を出し立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するときには目一杯引き下げます。

ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。タイミングには十分気を付けてください。

強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近寄ります。着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

レスキューパラシュートを使う

レスキューパラシュートを投げる



フライト中レスキュートグルの位置を頻繁に確認することを推奨します。そのために、意識しなくてもトグルを掴めるようになるよう定期的にレスキュートグルを掴む動作を繰り返すことを推奨します。目で見なくてもレスキュートグルをつかめる様にすることが肝要です。そうすることで緊急時にレスキューパラシュートを適切に引き出すことが可能になります。

緊急時には、対地高度を適切に判断して下さい。対地高度が十分にあるならばグライダーを回復させる方が良いことがあります。しかし高度がグライダーを回復させるほど十分でない、あるいは判断がつかない場合には、速やかにレスキューパラシュートを引き出してください。



力強くレスキュートグルをサイド方向に引き、レスキューをコンテナから取り出し、レスキュー全体（インナーコンテナとトグル）を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。

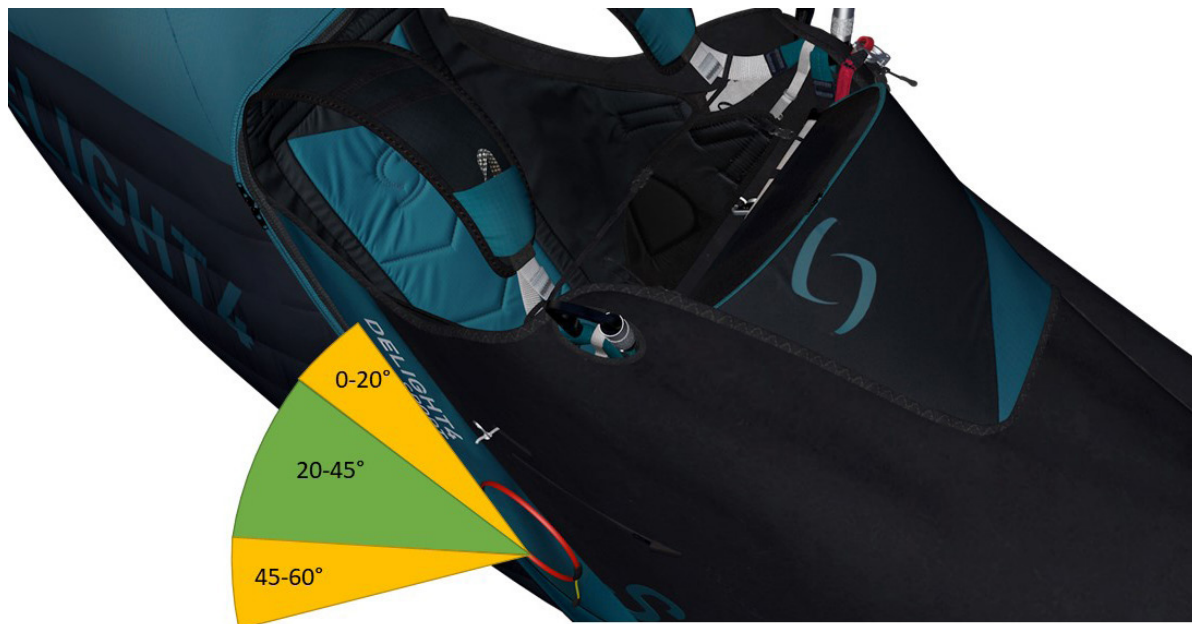
パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー（CまたはD）あるいはブレークを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます（万が一、パラシュートが開傘しなかった場合は、レスキューブライダルを掴み力強く引き込んでください。そうすることでパラシュートの開傘を促すことが出来ます）。

膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。

レスキューを外側へ20～45度の角度で引き出すと最適になります。0～20度あるいは45～60度の範囲では引き出しにより多くの力が必要になります。

レスキューを投げる際には、着座姿勢になり脚をハーネスの下側に下ろし前傾姿勢を取ります。

安全のために定期的にシミュレーターにぶら下って訓練することを推奨します。



トーイング

トーイングによるスタートには専用のリリースを取り付けなければなりません。

リリースメーカーの指示に従ってハーネスのカラビナ取り付け場所にリリースを接続します。

トーイングに際しては、安全のため必ず専門の資格を持ったオペレーターの下で実施してください。

必須点検

6か月ごとの点検



- レスキューパラシュートの引き出し検査（トグルを引き、レスキューがコンテナから正常に引き出せるか）。
- ハーネス全体の状態の検査。

1年ごとの点検



専門家によるレスキューパラシュートのリパック（パラシュートメーカーのリパックスケジュールが決められていない場合）。

保守

クリーニングおよびお手入れ

時々、ハーネスの汚れを洗い落とすのは良いことです。そのためには、中性洗剤を使い、ブラシで汚れを落とし、その後十分に水洗いして洗剤を落とします。いずれにせよ、ハーネスのテープ、縫製、生地などを傷めるので、漂白剤などの化学薬品あるいは溶剤などは決して使用しないようにして下さい。

ファスナーは、時々シリコンスプレーを使って滑りを良くしてください。

ハーネスを定期的に埃っぽい環境（ダート、砂など）で使用するならば、定期的にカラビナおよびバックルの保守・点検をするように忠告します：中性洗剤で洗い、完璧に乾燥させてください。油は塗らないこと！

また、ハーネスを使用する前にカラビナおよびバックルが正しく機能しているかの確認を行ってください。

特に海沿いでハーネスを使用している場合は、より一層注意を払い、厳しく点検をしなければなりません。

保管および運搬

ハーネスを使用しないときは、パラグライダーザックに収納し、紫外線の当たらない乾燥した涼しい清潔な場所に保管してください。

ハーネスが湿っている場合には、保管する前に十分乾燥させてください。

ハーネスを運搬する時は、紫外線劣化や傷などが付かないようにバッグに入れて運搬するようにして下さい。また、湿ったままの状態での長時間の運搬は避けてください。

修理

このハーネスの製造には最高品質の素材が使用されていますが、通常の使用によって摩耗・破損することが考えられます。

摩耗や裂け目などが見られたら、認定された修理センターで検査し必要ならば修理してください。



スップエアは、保証期間を過ぎた製品でも修理を致します。見積もりのお問い合わせは、直接電話されるか電子メールでsav@supair.comまでお問い合わせください。

耐用年数



以下の項目を念頭に、2年ごとにハーネスの完全な点検を実施してください：

- ・テープ類（摩耗状態、裂け目があるか、悪影響のある折り目があるか）
- ・バックルおよびカラビナの状態（摩耗、クラック、正しく機能しているか）



バンブエアプロテクションは強い衝撃を受けると損傷します。強い衝撃を2回受けるか、5年経過するか、どちらか早いときに新しいものと交換されなければなりません。

ディライト5に使われている、糸、テープと生地は、軽さと寿命の最適バランスを考慮して選択されています。しかしながら、状況によっては、長期間紫外線や化学薬品にさらされたり摩擦を受けたりすることもありますので、認定された修理センターなどで定期的に検査を受ける必要があります。あなた自身の安全に関わることです！



ハーネスに使用されているカラビナは、パラグライディング以外（登山やトローイングなど）には絶対に使用しないでください。

カラビナは5年あるいは500時間使用したら交換することを推奨します。

改造禁止

当社製品は、厳格な安全基準および性能基準に基づいて設計、試験、認証されています。

スップエア製品のいかなる改造、改変、またはパラグライディング以外への使用も固く禁じられています。

リサイクル

当社が使用する材料はすべて、優れた技術的特性と環境特性に基づいて厳選されています。当社の製品に使用される素材は、いずれも環境に有害なものではありません。ほとんどの構成素材はリサイクルが可能です。

お客様ご自身、または専門の修理センター、ディライト5ハーネスの耐用年数が過ぎたと判断した場合は、金属部品とプラスチック部品をすべて分離し、お住まいの国で施行されている廃棄物分別規制に従ってください。繊維部品の回収とリサイクルに関しては、繊維製品の取り扱いを統括する団体にお問い合わせいただくことをお勧めします。

素材

生地

- ・ リップストップ・デュラフォード・ロビック
- ・ アクアテックライトストレッチ
- ・ スカイトック 38g
- ・ タフタ 50D

テープ

- ・ ダイニーマポリエステル 25mm
- ・ ポリエステル 15mm
- ・ ナイロン 20mm

保証

スップエアー社は、製品の設計および製造において細心の注意を払っています。スップエアー社は、自社のパラグライディング製品に関して、通常の利用において生じた製造上の欠陥や設計上の不備に対し、2年間（購入日から）保証します。誤った使用や不適切な使用、損傷の原因となり得る過酷な環境（高温、強い直射日光、高湿度など）への過度な曝露、および必須の定期点検の不履行があった場合、本保証は無効となります。

スップエアー社の製品に何らかの改造が加えられた場合、保証は自動的に無効となります。

フライト装備



パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

スップエアー製品群のすべてのアクセサリ、グライダー、レスキューパラシュート（タンデム用を除く）は、ディライト5ハーネスと互換性があります。詳細については、弊社ウェブサイト（www.supair.com）をご覧ください。

免責事項



パラグライディングは、専門技術、専門知識そして正しい判断を必要とするスポーツです。十分注意してください。認定されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、フライトライセンスを取得し、あなたの技術が気象条件に適合しているかを確認してください。

スップエアー、ファルホークインターナショナル（有）および販売店は、あなたのパラグライディング活動および飛ぶ飛ばないの判断に対して責任は取ることはできません。全てあなた自身の責任となります。



このスップエアーの製品は、パラグライディング専用でデザインされています。スカイダイビングあるいはベースジャンピングのような他の活動に使用することは完全に禁止されています。

環境責任

パラグライディングはアウトドアアクティビティです。プレーする環境を守る責任はあなたにあります。以下の点にご注意ください：

- 地域の動植物を尊重する
- 自然の中にゴミを捨てない
- 騒音を抑える

これらの行動を通して、地球とパラグライディングというスポーツの未来を守ることに貢献できます。

ディライト 5 用 バンブエアプロ テクション

あなたが購入されたハーネスはバンブエアによる衝撃吸収システムを採用しています。このプロテクションは、起こりうる衝撃に対してあなたを保護するもので、個人の保護具（PPE）に関するEU基準2016/425に準拠しており、CRITT-SPSL-003 09/2021 プロトコルによる専門家により認証されています。

ハーネスのプロテクションのCE認証は次の認証機関により実施されました：ALIENOR CERTIFICATION n° 2754, Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein, 86100 Chatellerault, FRANCE

テストレポートとEU適合証明は、弊社のウェブサイト（www.supair.com/telechargements/）で入手できます。



如何なるハーネスのプロテクションも怪我に対して完全に防護してくれるものではないことを理解してください。特にバックプロテクションは背骨あるいは骨盤に起こりうる損傷を幾分か和らげる程度です。またプロテクションでカバーされている体の一部にしか起こりうる衝撃に対しての吸収効果はありません。



警告：衝撃吸収システムのいかなる改造および間違った使用法はシステムの性能を危険となるほど損ない、それらの機能が正しく働かなくなることに注意してください。プロテクションは衝撃吸収する要素が存在しかつ正しく装着されていることが必須です。従って、各フライトの前に次のことを確認してください：

- バンブエアプロテクションが正しく適切に挿入されている
- バンブエアプロテクション縫製部分と構成要素の状態（穴、裂けめ、ほころび、変形など）



通常の使用状況下ではプロテクションの耐用年数は最大5年となっています。

警告！激しい衝撃を受けた場合には、すぐさまプロテクションを交換しなければならない可能性があります。

運搬・保守

バンブエアの運搬と保守はハーネスに対するものと同様です。衝撃吸収プロテクションの点検もハーネスに対するものと同様です。バンブエアは圧縮されていない状態で保管しなければなりません。

点検及び修理

年に1回はプロテクションの点検をしてください。ショックアブソーバーが損傷している場合は、専門家に査定と修理を依頼するか、弊社まで（sav@supair.com）ご連絡ください。

保管およびクリーニング

プロテクションは圧縮されていない状態で、乾燥して換気の良い場所で室温で保管してください。クリーニングに際しては清潔な水のみを使用してください。

認証

- EU基準2016/425に準拠
- プロトコルSP-003 09/2021により専門家によって承認

- EU認証はホームページwww.supair.comで確認可能
- 認証はALIENOR CERTIFICATION n° 2754 ZA DU SANTAL 86100 CHATELLERAULT Franceにより実施

個人の保護具（PPE）製造者：

SUPAIR s.a.s
Parc Altaïs, 34 rue Adrastée,
74650 CHAVANOD FRANCE
RCS Annecy 387956790
Tel: +33 4 50 45 75 29
www.supair.com



事故が起きたら

緊急電話番号

EUROPE / INDIA	112
USA / CANADA	911
CHINA / JAPAN	119
NEPAL	101
IRAN	112
AUSTRALIA	000
NEW ZEALAND	111

救助が必要?



フラッシュライトによるSOS信号



整備履歴

このページをあなたのハーネスの整備履歴を把握するために活用してください。

購入日付：	
購入者氏名：	
販売店名・印：	

☐ 点検 ☐ 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

☐ 点検 ☐ 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

☐ 点検 ☐ 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

☐ 点検 ☐ 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

Annex

Manual COBRA® components

The COBRA® components by AUSTRIALPIN are intended for usage in fall arrest, PPE (personal protective equipment) products, and load security systems (including, but not limited to, harnesses). This COBRA® component must not be used beyond its specific limits, and must be used only for the purpose for which it was designed.

Activities in the heights, for which these COBRA® components are intended as part of a fall protection system, are by nature dangerous. Errors, recklessness or inattentiveness can lead to life threatening injuries or death.

You yourself are responsible for your own actions and decisions. The following instructions for use must be read carefully and thoroughly, understood and followed. They contain important information about certain dangers and risks associated with the use of this COBRA® component. However, it is not possible to outline and describe all potential dangers and risks. These instructions must be kept safe and easily accessible for the entire life and use of this COBRA® component. Re-sellers must provide these instructions to the buyer in the appropriate language.

Manufacturers using this COBRA® component in their products are responsible for the correct and orderly installation. Moreover, they must attach the following instructions to the product or include them in the corresponding manual/operating instructions of the product. In case of misuse or improper application, AUSTRIALPIN rejects and rules out any and all liability

Names of parts

Blocage rapide COBRA

(1) Body consists of (a) female part (b) male part;
(2) adjuster bar (optional); (3) integrated D-Ring (optional); (4) rivets; (5) clips

Size

Use the COBRA® components only with corresponding harnesses. A tolerance of ± 3 mm is webbing size of the component name (as designated on the delivery note or invoice) or request this information at office@ austrialpin.at.

Components markings

On upper side:

- AUSTRIALPIN: name of manufacturer on lower side:
- Made in or ORIG.: country of origin AT (Austria)
- batch number multi-digit
- buckles marked with «ANSI»: 4-digit number (year of manufacture) 1-digit (batch number) optionally on upper side:
- COBRA®: name of component group. (see illus. 8)
- kN: breaking load straight pull in kilonewton
- kN: breaking load loop configuration pull in kilonewton
- kN: breaking load of D-Ring straight pull in kilonewton
- PAT. or PAT. PEND: patented or patent applied for
- MOD. DEP.: note of patent on design
- ANSI Z359_: Norm to which component corresponds
- OUL: open under load – buckle can be released while under load
- NO PPE or DO NOT USE FOR FALL PROTECTION: do not use for personal protective equipment
- INDIVIDUAL TST: individual article tested

Materials

Body: aluminum

Rivets, adjuster bar, integrated D-Ring: stainless steel

Clips: brass

Anti slide part: polymer

Material exceptions:

- item no. starts with «FI»: stainless steel body
- item no. starts with «FT»: steel body
- item no. contains «VA4»: 100% stainless steel
- adjuster bar COBRA® FM and COBRA® FZ: aluminum
- adjustment valve SUPER COBRA®: aluminum

Combinaison ; utilisation des outils en tant que système ; compatibilité

En combinant ce composant avec d'autres, les dispositifs de sécurité de chaque composant peuvent interférer les uns avec les autres. Assurez-vous de leur compatibilité. Une combinaison incorrecte de composants peut entraîner des dangers involontaires et imprévisibles, auquel cas le fonctionnement sûr d'un composant donné n'est plus garanti. La compatibilité des composants de connexion et des sangles du harnais doit être assurée par le fabricant du harnais. Les instructions d'utilisation de chaque produit doivent être respectées attentivement, en particulier celles du système d'accrochage, dont ce composant de connexion fait partie.

Incorporation in the harness system

a) Make allowance for the correct position of the harness component in its closed state. The upper side must be the side turned away from the body. You can recognize the upper side from the lettering AUSTRIALPIN and/or COBRA®.

b) For COBRA® components with adjuster bar or middle bridge only: Make sure the strap is correctly threaded through the adjustment mechanism. If the functioning of the harness system permits, sew the end of the strap in such a way that it is impossible to become unthreaded (see illus. 7).

c) For multiple-part COBRA® components only: The individual parts must be ordered in the correct way so that when connecting, each upper part is turned away from the body.

Xpert check

Quite apart from continuous checking before and during use, the COBRA® components and the overall product must be checked, tested and verified at least once annually by a professional. The product should ideally be used only by one person so that the overall history of the product usage is known. Record the date of its first use. In case products are used by several persons, we recommend a systematic checking and documentation before and after each use.

Things to check before, during and after each use

Make sure that the COBRA® component has no cracks, deformations, fractures, fissures or signs of corrosion and that all components are firmly attached to each other.

FOR COBRA® BUCKLES (CLICK-CLOSURES) ONLY

Make sure that the male part and the female part belong to the same component group. (table 1) Check the riveting and the perfect functioning of the clips. Make sure that the buckle closes tightly and securely. Ensure both before and during usage that the buckle is correctly closed. Combine only COBRA® Buckles with the same type; for example FY with FY; FX with FX, FT with FT, etc. Do not use COBRA® components marked with -OUL (open under load) for PPE products.

Operation instructions

General information: Always ensure correct alignment, specifically regarding the orientation of the COBRA® components. The upper part must be oriented away from the person's body.

COBRA® Buckles:

To open: Press both clips simultaneously.

To close: Insert the male part into the female part without pressing the clips.

An audible 'click' must be heard from both clips. Verify that the buckle is securely closed by giving it a brief, firm tug.

Adjustment Bar / Central Bridge: The harness length can be adapted using the adjustment mechanism. Ensure that the webbing is correctly threaded (refer to illustration 7).

If the ends have not been properly sewn and secured by the manufacturer, the harness may be damaged and could come loose. Ensure that the harness does not slip unintentionally.

Operating conditions

The operating temperature for the COBRA® component (dry) is approximately between -80°C and +80°C.

Lifespan

The lifespan of the COBRA® component largely depends on how it is used, the frequency of use, and other external influences. The maximum lifespan under optimal storage conditions and without use is 15 years. The maximum service life from the date of its first deployment is 10 years. The actual lifespan of the COBRA® component ends when any of the 'end-of-use' criteria apply (see 'End of Use' section) and depends on various factors: intensity of use, frequency of use, operating environment, user competence, storage conditions, and maintenance.

Unusual circumstances can reduce the lifespan of a component to a single use—for example, contact with chemicals, extreme temperatures, salty or acidic atmospheres, sharp edges, or extreme loads.

End of use

In the following cases, the equipment must be immediately removed from active use:

- The equipment fails a verification test (whether before use, during use, or during regular periodic inspections).
- The equipment has been subjected to heavy loads (unless a professional can verify that it remains in perfect, safe working order).
- The history of its use is unknown or incomplete.
- Damage, deformation, cracks, or significant abrasion of the metal parts is observed.
- It has come into contact with chemicals or electricity.
- You have doubts regarding the reliability of the device.
- The component is too old (or legal requirements have changed, technical standards have been modified, new regulations have been introduced, incompatibility with other products is discovered, etc.).

For COBRA® buckles specifically:

- The opening clips do not function or do not move easily despite thorough cleaning and lubrication, or they do not return to their initial position after use.
- The buckle does not close correctly.
- The characteristic «click» is not audible from both clips when closed.

Immediately discard and destroy any decommissioned parts to prevent further use by others.

Modifications and repairs

If original parts of the COBRA® component are modified or removed, the safety characteristics may be compromised. The equipment must not be modified or fitted with additional parts in any way that is not expressly recommended by the manufacturer.

Storage, Transport, and Maintenance

Store your equipment in a dry place, protected from daylight, at normal ambient temperatures (–10°C to +30°C), and free from any mechanical compression, pressure, or tension. Keep the equipment away from chemicals and acidic or saline atmospheres. Avoid permanent vibrations. Use the protective bag or special storage and transport containers with non-metallic bottoms (to prevent contact corrosion).

Cleaning

Clean dirty COBRA® components with lukewarm water (using neutral soap if necessary). Rinse thoroughly. Dry at room temperature; never use an electric tumble dryer or place near electric radiators. If necessary, use only approved household disinfecting liquids that do not contain halogen.

The joints of all metal parts must be regularly regreased with a dry lubricant, especially after cleaning. (These dry lubricants perform their lubricating function even when dry, ensuring that no dust or dirt can stick to them).

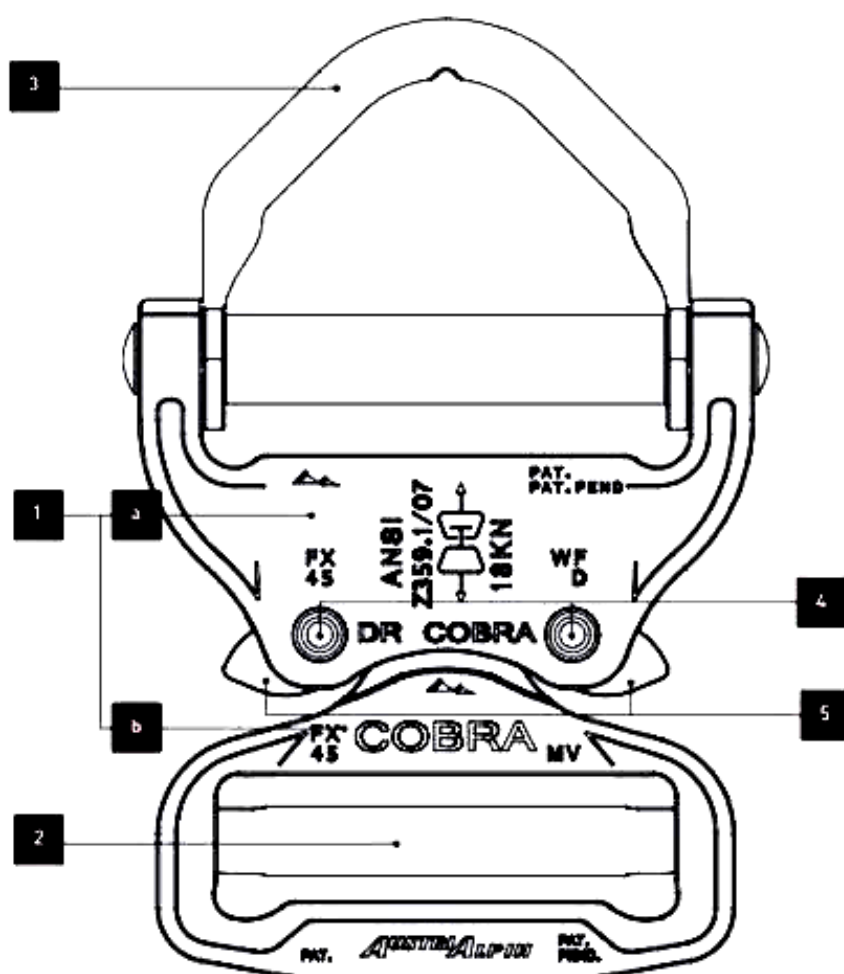
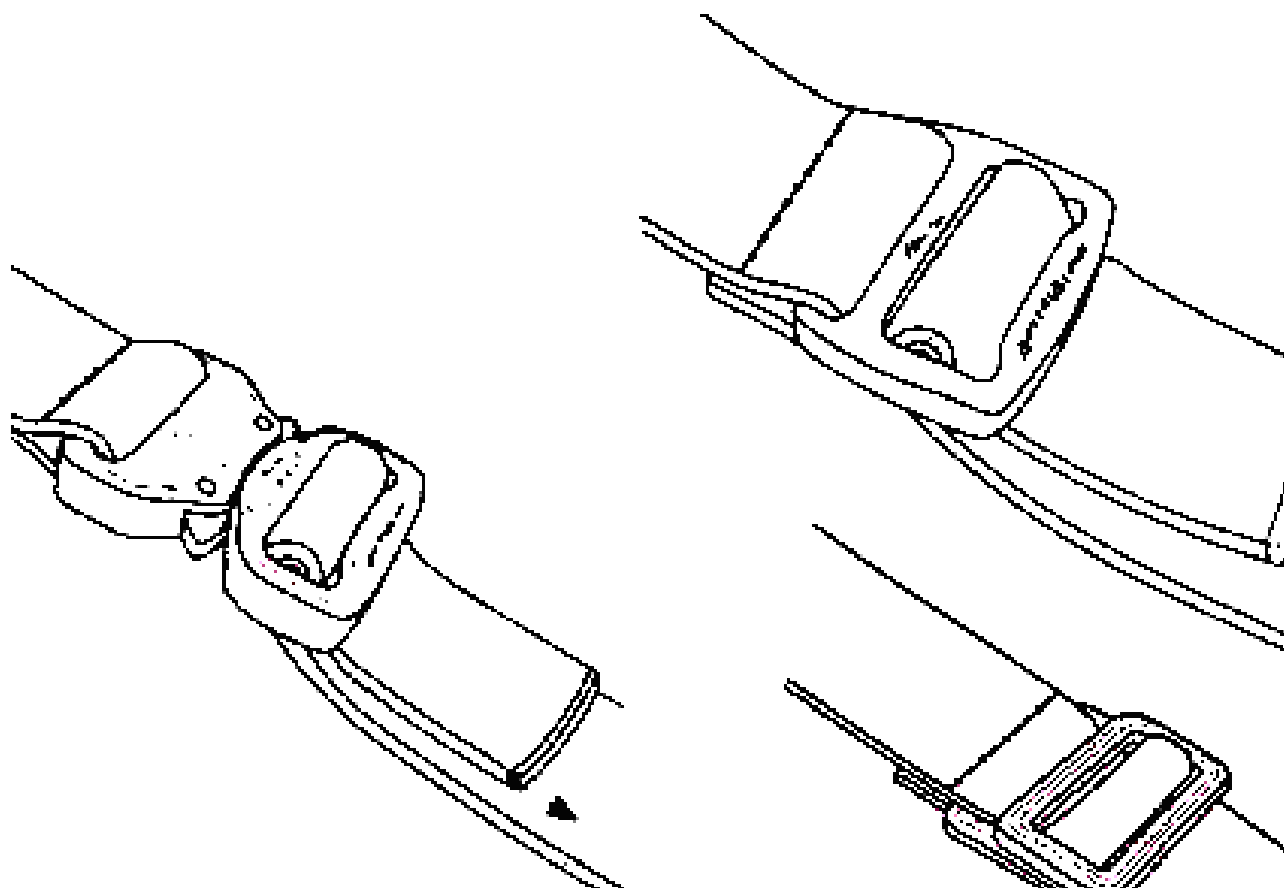


Failure to follow these operating instructions can result in fatal danger. Printing errors, omissions, and technical modifications are excluded.

ANSI testing performed by UL LLC.

© AUSTRIALPIN GmbH

01/2019, Subject to printing errors and technical modifications. AUSTRIALPIN® and COBRA® are registered trademarks.





SUPAIR
34 rue Adrastée
Parc Altaïs
74650 Annecy - Chavanod
FRANCE

RCS 387956790

45°54.024'N / 06°04.725'E

輸入者 ファルホークインターナショナル有限公司
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<https://www.falhawk.co.jp> Email: info@falhawk.co.jp

www.supair.com

Revision index: 18/05/2026